

# 東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nskk.org](mailto:comm.tko@nskk.org)  
Phone: 03-3433-0987 Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1161号  
2010年4月11日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 英 久子

◇4月の代禱・信施奉献先  
▽エルサレム教区のため▽国際  
こども学校の働きのため▽在日  
外国人人人権問題のため▽諸神学  
校のため

◆とこしえの平安

1月18日 木島 正(79)

聖アモテ

3月14日 土田 恒子(74)

聖アモテ

【GW中のイベント】

▽山手G⇨グリーンディ・ピク

ニック 4月29日10時〜15時(雨

天中止)、聖公会神学院中庭。会

費500円(小学生300円)、主

食・食器・箸等持参、会場内に

ハイチ・チリ沖地震被災者への

献金箱を設置。幹事教会⇨聖十

字 Ⅱ03(3422) 1037。

▽環状G⇨合同礼拝(多摩G協

賛) 4月29日10時半、多磨全生

園公会堂、司式⇨卓志雄司祭、

環状G教役者団、説教⇨金大原

司祭、午後のプログラム「おし

やべりなパントマイム」カンジ

ヤマ・マイムさん公演、全生園

資料館見学も。昼食・飲み物持

参。幹事教会⇨聖(テロ Ⅱ03(3

338) 4145。

▽下町G⇨ファミリアピクニ

ック 5月5日11時〜14時(雨天

中止)、葛西臨海公園。昼食・飲

み物持参。幹事教会⇨聖ヨハネ

Ⅱ03(3851) 9521。

▽チャリティー落語アンデレ寄

席(ぶどうのいえなどの諸活動の

ため 5月3日(月) 18時、聖ア

ンデレ教会聖堂。出演⇨晴留家志

んぶ師匠ほかで、落語・講談・日

本舞踊など。木戸銭⇨2千円(当

日券2千200円)。照会⇨同教会

Ⅱ03(3431) 2822。

## 今週・来週の予定

4月11日~24日

- 11(日) 復活節第2主日  
主教巡回 目白聖公  
会牧師任命式
- 12(月) 聖職養成委員会  
教区費分担金検討特  
別委員会
- 13(火) 銀座座朝禱会
- 14(水) 教会建築委員会・常  
置委員会  
エルサレム協働: 準  
備会
- 15(木) エルサレム新聖地  
旅行(〜28日)  
城南G牧師協議会
- 18(日) 復活節第3主日  
主教巡回 聖パトリッ  
ク教会牧師任命式
- 19(月) ハラスメント防止委員  
会
- 20(火) 礼拝音楽委員会
- 21(水) 教役者レクイエム
- 22(木) 財政委員会
- 23(金) 正義と平和協議会運  
営委員会

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

日曜日の午前9時10分前、朝の片付けをお父さんに任せ、息子と二人、バタバタと自転車に乗って日曜学校へ出かけて行きます。

日曜学校のお手伝いを始めて6年が経ちますが、その間に結婚、出産をし、生後1ヶ月を過ぎたころから出席している息子は3歳半になりました。

最初はベビーカーで寝ているだけの赤ちゃんでしたが、今では「〇ちゃんあそぼ!」と自らお姉ちゃん、お兄ちゃんたちの手を引っ張って行きます。日曜学校の子どもたちも、「泣いた!」「笑った!」「歩いた!」「しゃべった!」と、息子の成長を私以上に感じてくれています。

《み手のなかで》

## 子育て中です

香 取 智 子

日曜日の朝「今日は教会だよ」の一言に、息子は「やったー!」とジャンプをします。きっと息子にとって、教会の皆さんが大好きな父母であり、祖父母であり、兄弟姉妹であり、友人なのでしょう。

私自身、赤ちゃんのころから教会に行き、日曜学校で育ち、様々な出会いから皆さんに育てていただきました。教会と疎遠になった時期もありますが、今は新米母として教会の中で、子育てをさせてもらっています。

今後、息子や日曜学校の子どもたちがどう育っていくかわかりませんが、「いつでも帰っておいで。私はここにいます」。という神様の心を伝えていけたらと思っています。

(阿佐谷聖ペテロ教会信徒)

## 《お祈り感謝》

1月半ばより、入院治療の後、2ヶ月ほど静養させていただきました。この間、みな様のお見舞い、ならびにお祈りをいただきましたことを感謝致します。

身体を激しく使うこと、血圧を上げることが無いよう指示されています。少しずつ本来の務めが果たせるよう、励みたいと存じます。

主教 植田仁太郎

## 植田仁太郎主教様

## 聖務にご復帰

1月中旬以降、療養中でいらした東京教区主教。テロ植田仁太郎主教様は、4月1日聖木曜日の礼拝より、聖務に復帰され、司祭按手の約束の更新並びに聖油の聖別を含む聖餐式の司式を務められました。その後聖なる三日間の礼拝にも出られ、復活日には月島聖公会で牧師任命式を執り行われましたことを、喜びをもって皆様にご報告申し上げます。療養直後でい

らっしゃいますので、しばらく体調管理に留意されることと思えます。どうぞ皆様の引き続きのご加禱とご理解をお願いいたします。この間、多用の中、管理主教をお引き受けくださった北関東教区主教ゼルバベル廣田勝一主教様へ心から感謝申し上げます。  
(常置委員会)

## 正義と平和協議会運営

## 委員会報告(3月26日)

\*7月30～8月6日、青年韓国

の旅(釜山・ソウル)。8月11～16日、日韓青年交流セミナー(長崎)。教区各委員会の情報交換会など議長報告。

\*日韓併合百年の旅を再検討。

\*前田議長は常置委員に選出され議長を辞任、互選により大畑喜道司祭が議長に就任された。

\*講演会・協議会の開催を7月バーンサバイとリグリマジヤパン講演予定で協議。

\*その他。

▽真光教会公開講演会「老人介護の基礎知識」(介護保険のしくみとサービスマイルを中心)に4月18日(日)12時～13時、同教会。講師||中村勝美(社福・南町田ちいるば会みぎわホーム主任)。入場無料。照会||同教会☎042(795)6449。

## 【クローズアップ】45

## 「ひかりの子」の誕生

2010年2月20日の臨時教区会に於けるいくつかの議案が通ることによって、社会福祉法人「ひかりの子」が、東京教区の胎内にあつて正式に認知された。その子は、公的に2月24日、都庁に於いて産声を上げている。

新しく生まれた「ひかりの子」は、5月初めに仮園舎に引っ越す時点で、よちよち歩きを始める。そして来年2月末に新園舎が出来上がると、いよいよ元気に走り始める。

社会福祉法人「ひかりの子」が行う保育園の名は、「月島聖ルカ保育園」である。「名は体を現す」どおり、これまでの月島聖ルカ保育園と、その内実は何も

変わらない。聖公会の司祭がチャプレンを務めるし、何をするにもお祈りを持つて始める。キリスト教の礼拝がこれまで同様行われるし、職員会の中で聖書研究会も開かれ、毎朝の朝礼も祈りを持つて始まる。

これまでの聖ルカ保育園と異なる点は、来年から在園生が60人から101人に増えること、これまでと同じ敷地ではあるが、建物が3階建てに改築され、その3階部分に教会と牧師館が位置すること、聖ルカ保育園と教会が一層親密に協力し合う体勢になる事である。

保育園のキリスト教教育の内容も、より豊かになるよう改変される。聖公会の教会暦に沿う3年サイクルのカリキュラムが

作成され、それに従って、キリスト教信仰の諸側面がまんべんなく日々の保育に盛り込まれ、それが保育の基本となる。

聖ルカ保育園の営みは、教区会毎に内容が報告されるし、理事・監事の主だった者は、教区関係者・聖公会員であり、今後東京教区と「ひかりの子」の一致協力体制は、一層促進されるだろう。

とは言え「ひかりの子」は、まだ産声を上げたばかりである。教区内諸教会の皆さんのお祈りとご支援なしには、豊かな成長は望めない。皆さんのお祈りとご助力を心よりお願い致します。

社会福祉法人ひかりの子

理事長 神崎雄二